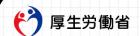


麻しん(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に

麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し、 2回接種していない方は予防接種を検討してください*。





世界には麻しんが流行している国・地域があります。

【海外に行く前に】

麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し、 2回接種していない方は予防接種を検討してください*。

【帰国した後に】

帰国後2週間程度は健康状態に注意しましょう。

※麻しんにかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください。

麻しんとは

感染経路

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

症状

高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状が出ます。 渡航中あるいは帰国直後に症状がなくても、1週間以上たってか ら発症する場合があります。

肺炎や中耳炎になることがあり、まれに重い脳炎を発症することもあります。先進国であっても、1,000人に1人が死亡するといわれています。

予防のために

海外に行く前に、麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し、 2回接種していない場合には予防接種を検討してください。 また、麻しんにかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合 は抗体検査を検討してください。

現在、子どもに対しては、定期接種で2回ワクチンを接種する機会(1歳児、小学校入学前1年間)があります。